

## 編集後記

この号の特集は、前編集委員の土屋先生の最後の企画であり、自らも特集の一論文の執筆者でもある。したがって、編集後記も先生が書かれるはずであったが、既に編集委員でないという理由で私が代って書くことになった。この雑誌はいうに及ばず、日本のリハビリテーション医学の発展に先生の果たして来た役割の大きさを今更私がのべるまでもないことであるかもしれない。しかし、創刊以来この雑誌の編集会議の席でも、先生の温かい励ましと厳しい御指導によって、雑誌も我々も少しずつ体裁を整えて来たように感じる。このような先生が去られた編集委員会にとって、残された一人一人の責任は重たいといわざるを得ない。幸いにも先生はリハビリテーションの分野でお仕事を続けるという、先生の御健康とお仕事の発展を心からお祈り申し上げたい。

さて、本号はそのような訳で、コミュニケーション介助手段の特集となった。コミュニケーションの重要性については、私のような者ではどう表現して良いか、迷ってしまう。しかし、幸いにも巻頭言の石田氏が、社会が円滑に発展するための第一として、“相手の立場に立って物を考える”という点をあげておられる。コミュニケーションの障害はまさ

にこの第一の項目に円滑さを欠くことになるのではないだろうか。リハビリテーションに従事している人の多くは、いわゆる肢体不自由の問題に係わっているため、コミュニケーションのような問題が特集として、この雑誌に現われる頻度は少なくなってしまう。しかしこの特集の各論文はそれを補って余りある力作揃いである。コミュニケーション介助手段の現況が良く整理され、今後の展望を素人の私にさえ目を開かせてくれるような思いである。諸先生方の一層の研究の発展が、障害者のコミュニケーションの円滑さをもたらせてくれるものと期待したい。

研究と報告、解説には2つの論文がのせられたが、いずれも大変地味な問題に取り組んで来られた成果を評価したい。このような研究や仕事の積み重ねがもっともっと必要なのではないだろうか。

講座のリウマチ・膠原病入門は、9回目になったが、いずれの号もリハ医学を志す者にとって大変有益な指針となっていると思われる。また、動作訓練法については、今回は最終回である。高松氏のお力によって、動作訓練がはじめて解り易く我々の目にふれた。しかし、まだ医学と心理学の共有財産とまでは行かないような気がする。読者の皆様からの反響を期待したい。(大川 嗣雄)

## 編集顧問

天 児 民 和  
大 島 良 雄  
小 池 文 英  
杉 山 尚  
砂 原 茂 一  
津 山 直 一  
水野 祥太郎  
土 屋 弘 吉

## 編集委員

明 石 謙  
上 田 敏  
大 井 淑 雄  
大 川 嗣 雄  
千 野 直 一  
横 山 巖

## 編集同人

赤 津 隆  
今 田 拓  
今 村 哲 夫  
江口 壽榮夫  
小 川 孟  
荻 島 秀 男  
小 野 啓 郎  
加倉井 周一  
河 邨 文一郎  
小 島 蓉 子  
五 味 重 春  
斉 藤 正 也  
笹 沼 澄 子  
沢 村 誠 志  
鈴 木 明 子  
高 田 玲 子  
武 智 秀 夫  
田 中 照 子  
土 屋 和 夫  
永 井 昌 夫  
中 村 隆 一  
野 島 元 雄  
野 村 欽  
橋 倉 一 裕  
長谷川 恒雄  
林 玉 子  
福 井 園 彦  
松 村 秩  
三 島 博 信  
渡 辺 英 夫  
(五十音順)

(細田, 山田)

## 次号予告(第9巻第10号)

### 特 集 移動手段

個人住宅における障害者の移動への

配慮……………東京都身障センター 寺山久美子・他  
公的な建築物における身体障害者の移動への配慮:

「京都市のまちづくりのための建築物環境整備

要綱」の場合……………京都市住宅局 頼 成 為 住

障害児の通学手段: 横浜市の現状と問題点……………横浜市 大 川 嗣 雄

身体障害者と自動車: 運転技術

訓練を中心に……………国立身障リハセンター 初 山 泰 弘・他

障害者の公共交通機関利用の現状と

問題点……………日大・理工学部 野 村 欽

### 研究と報告

脳性麻痺児の発声発語障害の分析……………北九州療育センター 大 貝 茂・他

筋線維の大きさの測定および空間パターン解析に

コンピュータを利用する試み……………広島大・整形 畑 野 栄 治・他

脳血管障害片麻痺の運動負荷テストとその臨床

応用について……………中伊豆リハセンター 窪 田 俊 夫・他

### 講 座

リハ医のためのリウマチ・膠原病入門

10: Sjögren 症候群……………埼玉医大・内科 鈴 木 輝 彦・他

脊柱 4: 椎間板の生化学と代謝……………自治医大・整形 渋谷 光 柱・他

### 一頁講座

リハにおけるコンピュータの応用……………労災義肢センター 土 屋 和 夫

### 学会報告

第31回 関東リハビリテーション医学懇話会……………帝京大 岩 倉 博 光